

(2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		11,631	100	11,736	99	71	84	-	-	神奈川、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。年末から1ヶ月以上の干ばつとなり、2月上旬には若干の谷間も想定される。全体の入荷量は前年並、価格は前年、平年とも下回る見込み。
にんじん		6,940	93	6,854	83	163	103	-	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。主力の千葉でも産地によりばらつきがあるが総じて不作傾向。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
はくさい		12,369	97	11,408	55	100	54	-	-	茨城産中心の入荷で全体の6割を占める。生育は順調で出荷についても前年並の状況。2月初頃まで現状と同程度の量で推移し、その後は徐々に減少していく。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年並の見込み。
ほうれんそう		1,756	100	1,960	425	96	345	-	-	群馬、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。今年も昨年同様低温・干ばつで経過しているため、入荷は前年並、価格は前年を下回るものの平年を大きく上回る見込み。
キャベツ類		13,475	98	13,342	116	86	90	-	-	愛知、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年も前年同様低温・干ばつの影響で全体的に小振り。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格も前年を下回る見込み。
ねぎ		4,389	105	4,607	333	81	246	26	0.6	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の7割を占める。今年は作柄良好で、ほぼ前年作の見通し。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
レタス類		6,764	100	7,182	244	90	214	-	-	静岡、香川産中心の入荷で約5割を占める。今年は、1月の寒波の影響で2月上旬まで高値が予想される。今後の降雨や暖気により回復する見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。

(2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり		4,618	100	4,841	397	101	379	-	-	千葉を中心とする関東産と高知などの暖地が市況をリードする。今年は低温傾向であり重油代の高騰が気になるが、2月には日長となりため寒波も一息つくであろう。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。
なす		1,411	100	1,578	448	101	418	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年も前年同様寒波の影響により前年並に少なく、価格は前年をやや上回る見込み。
トマト		4,722	98	4,871	398	101	359	-	-	愛知、熊本の暖地産が市況をリードする。愛知県は順調であるが、他の産地は下旬に少なくなる見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
ピーマン		1,134	98	1,184	732	100	752	-	-	宮崎、高知産、茨城産中心で全体の約9割を占める。今年は低温の影響により、全国的に作柄は不良。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年並の見込み。
ばれいしょ		7,624	95	7,986	140	100	116	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷で全体の9割を占める。北海道産の貯蔵ばれいしょの残量は前年並で平年と比べるとかなり少なめ。九州産の新じゃがいもは作柄良好。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年並の見込み。
たまねぎ		8,051	90	8,986	145	105	105	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産の貯蔵量は平年を1割以上下回る。静岡産の新物は、生育停滞気味であったが作柄は良好で今後は順調に増加してくると思われる。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年を上回る見込み。